

# 東京農工大学 学生生活動支援センター

文部科学省大学改革推進等補助事業●「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」選定

## 新しい地球人養成プログラム

—循環型社会を支える主体的学生生活動の育成—



東京農工大学



## 学長メッセージ



東京農工大学長  
小畑 秀文  
Hidefumi Kobatake

「学生活動支援センター」の設立と活動開始を心より喜ばしく思うと共に、その成果に大きな期待を抱いております。

平成19年度の文部科学省の施策の一つである「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」は、社会経済の複雑化・高度化に対応し、社会を牽引できるような人材の養成を目的に、意欲を持って自立し挑戦する学生活動への支援体制の改善・充実を図ることを目的にしたものです。本学の学生の主体的活動は極めて活発ですが、その中で地域社会との連携や地域貢献活動に属し、かつ本学の基本理念に沿った活動は少なくありません。本学の基本理念は「使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力—」です。その意味するところは、環境問題やエネルギー問題などを代表とする地球規模のグローバルな課題の解決と循環型社会の構築に教育と研究を通して貢献することです。これらに該当する学生の主体的活動にはリサイクル関係、ボランティア関係、ものづくり関係など、多数挙げることができます。これらの活動の場は教室での教育とは一味も二味も異なる場であって、ここでの活動体験を通して、学生は大きく成長するものです。第二の教育の場であるといえるでしょう。この第二の教育の場をより育成し、それらを強力に支援することは、本学の人材育成の理にかなうものです。その実現のために本学から申請した「新しい地球人養成プログラム—循環型社会を支える主体的学生活動の育成—」が採択となりました。「学生活動支援センター」はこのプログラムを推進し、学生の主体性を重んじつつ、学生と地域社会との連携や地域貢献活動を側面から支援するために設置したものです。

学生は次代を担う存在です。その学生が大学で何を学ぶかは国の将来を、あるいはより広くこの地球の将来をも決めるといっても過言ではありません。学ぶことには、高度な専門知識だけではなく、人として如何に生きるか、社会の一構成員として如何に行動すべきかなど、社会との関わり方についての基本的な素養までも含まれます。前者の重要性はこれまでも強く認識されてきましたが、後者に関しては必ずしも大学で重要視されてきたわけではありません。しかし、その必要性が今ほど高まっているときは無いといつても良いかも知れません。「学生活動支援センター」が大学における全人的教育の主要な一翼を担う存在になることを願っております。大学としてもその活動に強力に支援をしていきたいと思っております。

学生による主体的活動の一層の活性化を期待しております。

## センター長挨拶



センター長  
笹尾 彰  
Akira Sasao  
(東京農工大学教育担当副学長)

文部科学省による学生活動支援事業として平成19年度から「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」が立ち上がりました。事業の目的は、学生の人間力を高め、人間性豊かな社会人を育成するため、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援プログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を支援し、その活動を広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行い、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。

この事業に、本学の「新しい地球人養成プログラム」が採択され、その一翼をになうことになりました。本プログラムは「循環型社会を支える主体的学生活動の育成」を副題として、本学の基本理念のもとに、問題解決能力を持ち、自分で考えて実行する「責任を持つ賢い市民」の育成のために、既に地域において高い評価を得ている災害ボランティア、森づくりの会、ごみダイエット運動などの活動はもとより、循環型社会を支える学生の自主的活動に対して積極的に支援するものです。本プログラムを推進するに当たり、「学生活動支援センター」を府中、小金井両キャンパスに設置しました。センターの役割は、学生と教員が協働して本プログラムの目的を推進できるようサポートすることであり、社会連携の視点に富む専門性の高い専任の学生活動支援推進員(コーディネータ)を両キャンパスに配置して、学内外から持ち込まれる様々なアイデアを検証し、社会との連携に必要な情報の収集、ノウハウの蓄積、さらには成果の公開を行います。センターの活動を運営する組織として、「学生活動支援協議会」を置き、この委員の中には、両キャンパスから選出された学生も含んで、センターが自分のものとして自覚され、活動しやすいようにしております。この協議会は、地域と連携した活動を「教育の場」と位置づけ、地域との連携を強めることに努め、どのサークルでも支援が必要となればいつでもセンター活動に参加できる体制をとっています。

本取組を通して、学生が自発的に社会との関わりを持つことによって企画力やコミュニケーション能力が育成され、他の大学等の模範となるよう、本センターは努力しますので、学内の皆様方の強力な支援と活用をお願いする次第です。



## 設置の目的

本学は、「使命志向型教育研究-美しい地球持続のための全学的努力」(MORE SENSE : Mission Oriented Research and Education giving Synergy in Endeavors toward a Sustainable Earth)を基本理念とし、21世紀の人類が直面している課題の解決に真摯に取り組み、持続的な人類の発展に寄与するための科学技術や新たな学問分野の創造と、それらを担う人材育成を目指した教育研究を行っています。この理念に基づき、学生が主体性を持ち、自ら考えて実行し、問題解決能力を養い、美しい社会の建設を目指す「責任を持つ賢い市民」としての自覚をもつ学生の育成を目指しています。

文部科学省は、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、社会への情報提供と財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るために「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」を平成19年度に立ち上げました。この支援事業を受けて本学では「新しい地球人養成プログラム」を開始しました。このプログラムは循環型社会を支える学生の人材育成に資するため、社会ニーズ、学生ニーズへの迅速な対応と地域に貢献する学生活動を全学的に支援することを目的とするものです。

上記プログラムの一環として学生と地域社会との連携に迅速に対応し、学生主体の地域貢献活動の活性化を支援するために平成19年11月に「学生活動支援センター」を設置しました。



## 事業内容

府中・小金井両地区に学生活動に対する支援窓口として学生活動支援センターを設置し、学生の各種の相談や以下の支援活動を推進します。

### ◎学生活動に関する情報収集と発信

本学の体育系・文科系サークル・農ゼミ(農学部学生ゼミナール)等に属する各団体の中には、地域活性・環境保護・ものづくりといった社会的ニーズの高い事柄を団体の活動として行っている学生がいます。当センターは学生の自主的活動に関する情報を収集し、その活動を学内外に広く発信します。また、体育系・文科系サークルや農ゼミサークルに所属していない団体についても広く情報を収集・発信します。

### ◎学生活動支援に関する企画・立案

学生活動に対する支援の一環として、新たな活動企画の発掘、資金面を含めた活動助成、講習会やセミナー等の企画・立案を行います。

### ◎学生活動支援体制の構築

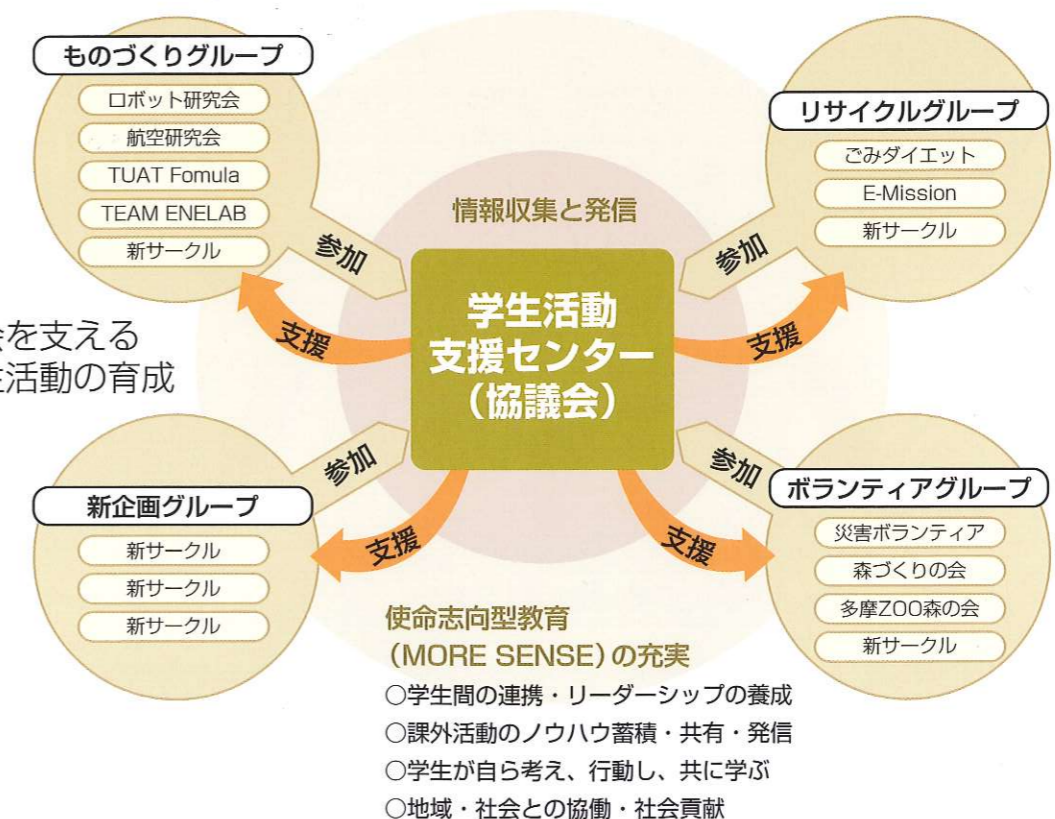
当センターを学生活動の支援窓口と位置付け、学生の自主的活動がより円滑にかつ活発に発展できるための学内における支援体制の構築を図ります。

### ◎学生間及び地域社会との交流促進

学生活動の活性化を図るために、各団体の活動の交流の機会および地域社会との交流のコーディネートを実践します。

### ◎その他学生活動支援に関する業務

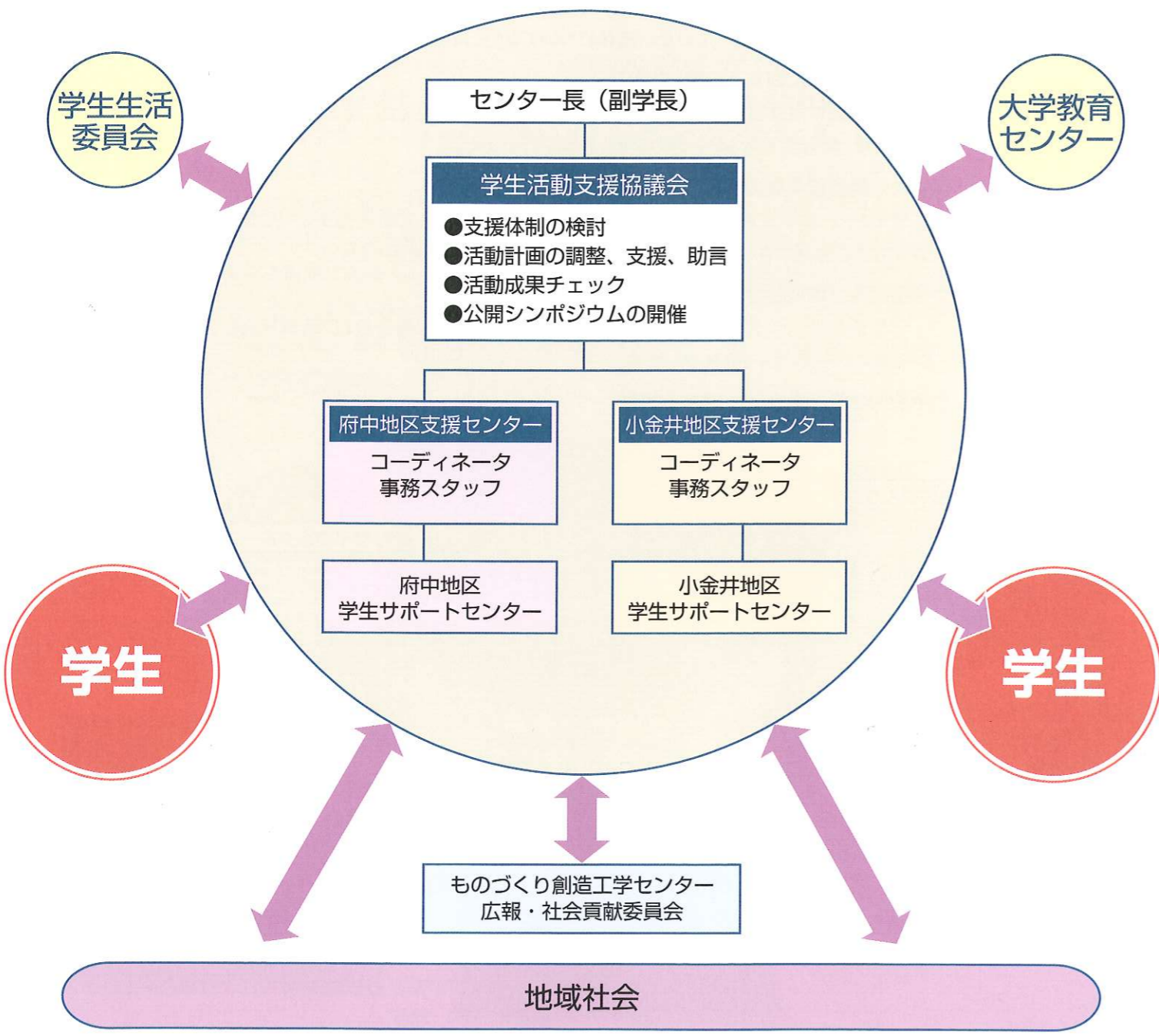
循環型社会を支える  
主体的学生活動の育成





# 運営体制

センターの事業方針は副学長、専任コーディネータ、学生、教員、事務職員らで組織する「学生活動支援協議会」で検討します。協議会で決定された活動方針に沿って、専任コーディネータと事務職員が常駐する府中地区・小金井地区双方の学生活動支援センターが窓口となり事業を推進します。事業推進の際には必要に応じて、学生生活全般について協議する学生生活委員会、カリキュラムの立案等を行う大学教育センター、工学部附属ものづくり創造工学センターなどと連携します。



# 主な学生活動

学内には森林・農業・リサイクル・環境志向型のものづくりなど環境改善や地域貢献をサークルや団体の活動として行っている学生がいます。ここではそれら学生達の活動の一部を紹介します。

## 森林ボランティア

### 森の派出所

2004年に森林科学を学ぶ学生達によって組織されました。授業・実習で学んだ知識や技術の実践、専門分野の共有、森林についてのより総合的知識の習得が主な目的です。付属演習林での森林管理作業、地元の小学生を対象とした体験学習などを実践しています。

### 多摩Zoo森の会

多摩動物公園内の里山の景観、自然保護のために園内の植生に手を加え管理しています。月2回、植生調査、希少植物の保護、笹刈り等の管理作業を行っています。

### 森づくりの会

青梅市二俣尾にある森の管理作業を行うとともに森林管理の方法、林業、植物などについて学ぶことを目的に活動しています。

## 農業ボランティア

### 耕地の会

農家と連携した季節に応じた様々な野菜作り、宮城、福島、新潟などで米作りなど年間を通じた農業の実践を行っています。

### 農工やさい塾

大学近くの農家と連携し、様々な作物を育てながら農業について学ぶ農業体験サークルです。

## リサイクル

### ごみダイエットNOKO

身近なところからごみの減量などの環境問題に取り組む環境サークルです。主な活動目的は、学園祭で出るごみの分別や生ごみの堆肥化などを進め、ごみの減量化に努めることです。最近では、多摩川河川敷の清掃活動、新入生のためのリサイクル市の開催なども行っています。

## ものづくり

これら4団体は、近年の小中学生の理科離れ問題に対する方策の一つとして、自治体と連携した児童対象の科学教室も実施しています。

### ロボット研究会

技術・技能を磨きながら様々なロボットコンテストに出場することを目的に活動しています。これまでもNHKロボコン2006での優勝や知能ロボットコンテスト2007準優勝など数々の輝かしい実績をあげています。

### TEAM ENELAB

機械システム工学科が設置するサークルです。栃木県茂木市のツインリンクもてぎで行われるHONDAエコノパワー燃費競技全国大会への出場・記録の更新を目指し、省エネ自動車を作る活動をしています。

### 航空研究会

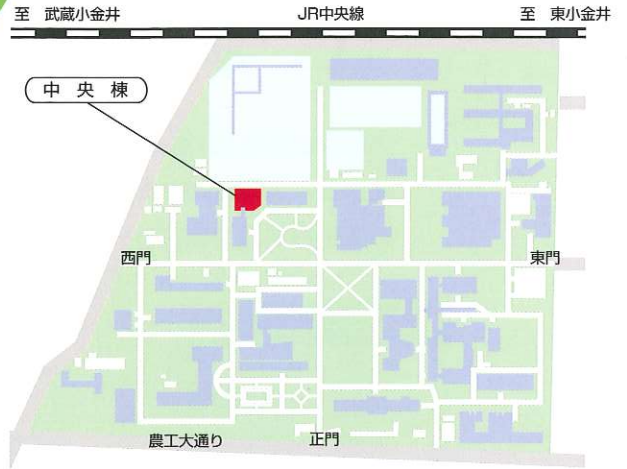
「鳥人間コンテスト」出場を目的として、機械の設計・製作・研究を行っています。航空力学の習得、翼の構造研究、技術力と知識の向上を図っています。

### TUAT Formula

全日本学生フォーミュラ大会出場を目指し、フォーミュラカーの設計・製作を行っています。



## 所在地



### 府中キャンパス

福利厚生センター (生協) 2階

Tel:042-367-5255 Fax:042-367-5258

E-Mail:fkatudo@cc.tuat.ac.jp

開館時間 9:00~17:00

### 小金井キャンパス

中央棟1階

Tel:042-388-7931 Fax:042-388-7937

E-Mail:kkatudo@cc.tuat.ac.jp

開館時間 9:00~17:00

## アクセス

